

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称	
事業名	626	シルバー人材センター運営事業	会計	01	一般会計	
基本施策	46	地元魅力的な雇用の場をつくる	款	05	労働費	
			項	01	労働費	
			目	02	労働諸費	
担当部課名	産業振興部商工政策課		細目	101	シルバー人材センター運営等経費	
作成者氏名	川崎末博	連絡先	22-9672 (内線2750)	細々目	01	シルバー人材センター運営等経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	伊賀市シルバー人材センター 雇用機会を求める高齢者	高齢者の雇用機会の確保を図るため、シルバー人材センターに補助金を交付し団体を育成する。		
本年度事業内容	伊賀市シルバー人材センターの運営に対し補助金を交付する。 伊賀市シルバー人材センターに事業運営資金の貸付をする。			
	平成 17 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
支出内訳 (千円)	事業費(B)	17,270	20,270	20,270
	委託料			
	補助金	17,170	17,170	17,170
	貸付金		3,000	3,000
	その他	100	100	100
合計(A+B)		18,710	21,710	21,710
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財		3,000	3,000
一般財源	18,710	18,710	18,710	
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
シルバー人材センター会員数	人	957	995	1033			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
シルバー人材センターに対する仕事の受託件数	シルバー人材センター会員数については、2007年問題もあり増加するものと考えられるが、会員数に見合うだけの仕事の受託数の増加を指標としました。	件	5,640 ()	5,742	5,844
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成17年4月1日に合併市町村シルバー人材センターが統合され、伊賀市シルバー人材センターとなり、今後益々の事業展開を図っていかねばなりません。しかしながら、会員増加が見込まれる中、センターが基幹的業務を果たしていく上でセンターの拠点施設の設置が重要な課題となっており、その支援についても検討しなければなりません。

評価	必要性	4	今後、益々の高齢化社会を迎え、高齢者等の就業機会の増大を図り、生きがいづくり、地域社会づくりを促進を図るためにも必要な事業であり、引き続き事業の継続を実施するものである。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		